KIFA Report

河内長野市国際交流協会

Vol. 109

Apr. 2019

- デンマークの学生との交流会
- たすけあい広場
  京都市防災センター体験と金閣寺
- 日本語ボランティア講座
- 世界情勢 ここに注目！
- 国際料理教室　～韓国編～
- ボランティアフェスティバル
- コンニチハ！ 日本語サロンです
- 新年懇親会
- インフォメーション

〒586-0025　大阪府河内長野市昭栄町 7-1　キックス 3F　http://www.kifa-web.jp　Tel 0721-54-0002　office@kifa-web.jp

異文化体験、茶道に正座！

今年 1 月、北欧の国デンマークからやってきた学生との交流会が開催されました。デンマークのフュン島にあるアイスビャオフース国際エフタースコーレに通う10年生21名（15～17歳）と先生3名、さらに彼らの交換留学先である大阪YMCAインターナショナルハイスクールの高校生をまじえ、総勢 50 名をお迎え。デンマークと日本の学生の皆さんに、一緒に日本文化を体験してもらいました。まずは大会議室で折り紙のコマづくり、そのあとは和室に移動して茶道体験です。

コマ回し大会！

●茶道体験

茶道体験では、曽和宗陽（そわそうよう）先生にご指導いただきました。和室の三方に学生たちが並んで座り、一人一人の前にお茶菓子が出されます。暦は一月。梅の花やふきのとうを模した和菓子、今年の干支である「亥（い）」の焼印入りのおまんじゅうなど、季節を感じる美しいお菓子が並びました。お茶菓子にはお茶の苦みを抑える役割があるため、お茶より先にいただきます。茶釜のお湯で茶器を温め、丁寧に点てられた抹茶は、鮮やかで美しい緑色。曽和先生から、「まず器を見て目で楽しむ」それからお茶を出してくれた人に「いただきます」と礼をして、左隣の人に「お先に」と挨拶をするという作法を教えていただきました。
そっと器を手に取り、少し緊張した面持ちでお茶をいただくデンマークの学生さんたち。「little bitter（少し苦いです）」「おいしいです」と、伝統的な茶道の味わいを感じてくれたようです。茶道体験の間、デンマークの学生のほとんどが足を崩さず、きちんと正座をしていました。曽和先生も驚き顔で、「感心しています」ととても褒めていらっしゃいました。

曽和宗陽先生

Eisbjerghus Internationale Efterskole
（アイスビャオフース国際エフタースコーレ）

デンマーク、フュン島の Nørre Aaby という町にある、国際交流を通した学びが特徴の私立学校です。今回来日した学生は、日本を交流国に設定した日本クラスに在籍し、日本にスポットを当てた異文化学習をしてきたそうです。

1 月 25 日（金） 市民交流センター　大会議室、和室

●ホストファミリーの皆さんとご対面

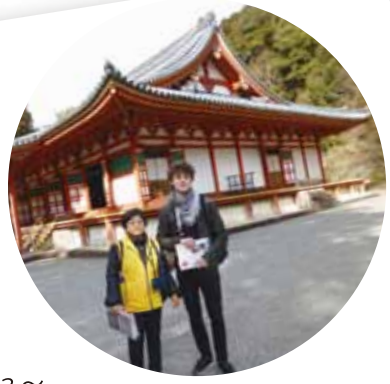
今回お迎えしたデンマークの学生の内 6 名が、河内長野で 3 日間ホームステイをします。交流会の後、ホームステイ先のご家族と対面すると、握手をしたり、ぎゅっとハグしたり、感極まって涙ぐむ人まで。これから 3 日間、家族として過ごす楽しい日々が目に浮かぶようでした。

ホストファミリーの中には、これまでにもデンマークからの受け入れ経験があるお宅もあれば、今回が初めてという家族もいます。

ホームステイを通じて、あたたかい交流の輪が広がっていくことを感じました。

ホストファミリー Denmark 2019 体験記

ホームステイ エピソード 1 嶋さんとジョナタン君



～いずこの国も！？～

「今日は近くのお寺と温泉に行きたい。」

前日、奈良で鹿に囲まれ、疲れたのだろう。そこで観心寺に行き、224 段の後村上天皇陵へも上がった後、風の湯にのぼせるほど長く入っていた。夕食時、英語ニュースを見て、「韓国ではスマホネックが問題になっている」と言ったが、彼自身、絶えずゲームをしては首を回す。凝った肩をたたいてあげると、「もっと右」等と注文が。「君は本当に若者？」私は思わず聞いていた。

ホームステイ エピソード 2 綱本さんとビクター君

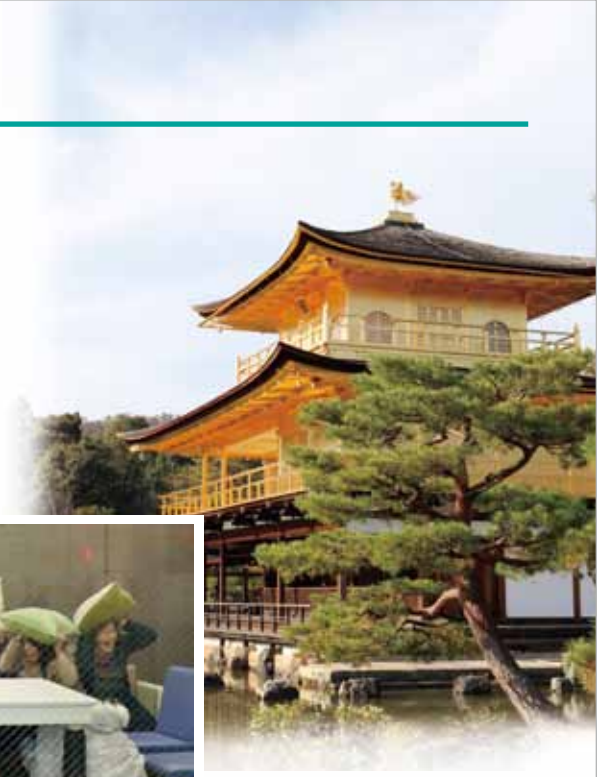
16 歳にして 190cm 以上ととっても大きいビクター君。どんな食べ物にもチャレンジして美味しいと食べてくれました。奈良では鹿に目を細め、寄ってくるどの鹿にも煎餅をあげていました。ちょうど私が手伝う古民家での地域食堂の日だったので、かまどで炊いたご飯を食べる体験もできました。

ホームステイ エピソード 3 長野さんとカロリーヌさん

1 月 25 日から 28 日朝までデンマークから、16 歳のカロリーヌさんというしっかりした女子学生を受け入れました。日本食、お箸 OK で、とりわけ日本茶が大好きでした。奈良東大寺に行きました。楽しかったです。

京都市防災センターを訪ねて

2018 年 12 月 2 日（日）



京都市南区西九条にある京都市防災センターを外国出身の方 19 人を含む総勢 37 人で訪れました。施設内には様々な体験をするための設備が揃っています。体験プログラムを通してより一層の防災知識や災害時の対応能力を高めていくのが目的です。

今回は、４つのプログラムに参加しました。

●**強風体験コーナー**：風速 32 メートルの威力とその中での行動の困難さを体験しました。息をするのも大変でした。

●**地震体験コーナー**：地震が来たら、まず身の安全を図ること、そして揺れが収まったら火の始末などをすることを学びました。

● **4D シアター 迫り来る地下街の恐怖**：洪水が地下街を襲う様子をリアルな映像で体験。大阪市内には地下街が多いです。早めの避難が大事です。

●**避難体験コーナー**：ホテル火災を想定して、チームに分かれて、灯りの消えた迷路のような通路を非常警告灯を頼りに出口を目指します。もし実際の火事であれば逃げきれなかったチームもあったとか、改めて知らない場所での避難の難しさを知りました。まず避難路を確認しておくことが重要です。

防災センター見学を終えて、一行は北区の金閣寺へ向かいました。12 月初めにもかかわらず、穏やかな絶好の行楽日和。境内を散策し、たくさん写真を撮り、赤毛氈の上でお茶をいただいたりと、思い思いに京都の一日を楽しみました。

世界情勢　ここに注目！　「ニュースの裏側～知っておきたい世界のこと～」

講師：桃山学院大学　名誉教授　村山高康氏　　３月２日（土）　市民交流センター　中会議室

いつも、ユニークな切り口で、新聞やテレビではなかなか知ることの出来ない世界情勢をわかりやすく解説していただいている村山高康先生に講演していただきました。

この日は、ベトナムでの米朝首脳会談の真っ最中。一方米国では、トランプ大統領の元顧問弁護士マイケル・コーエン氏が大統領のロシア疑惑など「危うい言動」を浮き彫りにする証言をしました。トランプ大統領の言動は、「塀の上を歩いている」と例えられるそうです。見ていて落ちそうで危なっかしい、でも落ちない。米国のマスコミの報道も批判的なものが多いですが、絶対的にトランプ氏を支持する国民も多いそうです。そういう人々はマスコミが批判すればするほどトランプ氏の言動を擁護するそうです。言動の可否を問う前に、とにかく' CHANGE' を望んでいる人々が多いのかもしれません。

お話はどんどん広がっていきます。中国と言えば、いまだに著作権無視、中国製品は安かろう悪かろうというイメージがありますが、今や日本を抜いてGDP世界第２位の経済大国に成長しました。この理由はなんでしょうか？　国策として、「改革開放」という政策転換により鎖国状態だった中国に海外の企業を迎え入れ外資の導入、外国企業誘致が行われました。経済特区が設置され、税制の優遇に加え、「農民工」と呼ばれる農村出身の出稼ぎ労働者の豊富な労働力による人件費の圧縮など企業のメリットも大きく、開放された中国市場には、多くの海外企業がこぞって工場を建設しました。中国人はそうした企業で働くことで、製品開発・製造の技術やノウハウを吸収していきました。そして、ついに自国での生産品を輸出する輸出国へと転換し、安い人民元を背景に品質の向上した安価な製品の輸出を伸ばして経済発展してきました。輸出品に対する決済をドルで行うことにより、巨大な外貨獲得、蓄積を行ってきました。

話題は、インドとパキスタンの衝突、英国のEU 離脱問題の背景へと広がっていき、あっという間に予定していた時間になってしまいました。最後の質疑応答では、日本の課題である消費税増税についての質問が出ました。増税の是非について色々議論はあるかと思いますが、高負担高福祉で知られるスウェーデンと日本を消費税が全税収に占める割合について比較した興味深いお話を伺いました。日本の場合、消費税 8%だと全税収の34%にあたるのに、スウェーデンは、消費税が28%と高いにも関わらず、これは税収の30%にしかならないそうです。

新聞やテレビだけでは、中々得られない貴重な情報満載の講義でした。

今年度の第 2 回から第 4 回の日本語ボランティアの講座は、（財）海外産業人材育成協会関西研修センターから矢谷久美子先生をお迎えしました。2 月 2 日の第 3 回と 2 月 16 日の第 4 回の様子をお伝えします。

市民交流センター 大会議室

「日本語が話せない人とのコミュニケーションの取り方」

～日本語は何が難しい？／やさしい日本語～

■語彙の多い日本語

日本国内でコミュニケーションを取ろうとするとき、基本はやはり日本語です。私たちにとっては、非常に便利な日本語に注目。矢谷先生のご指摘でまず気付かされるのは、日本語の言葉の種類の多様性です。例えば旅行に行って泊まるところは「ホテル」「旅館」「宿」と 3 種類以上あります。それぞれ、表すものが少しずつ違っていて、日本人はちゃんと使い分けています。そのため、学習者が覚えなくてはいけない言葉の数はとても多いのです。外国人が社会人として生きていくために必要な単語の数が、英語では約 600 語だそうですが、日本語ではなんと約 10,000 語!

話す相手や場面によって文のスタイルも違います。「行きますか?」と聞く場合、地位の高い人には「行かれますか?」家族や友人には「行く?」を使うなど、尊敬語は、日本人でも難しいですね。

また、日本人の特徴である、物事をはっきりと言わない言い方は、外国人にはとても伝わりにくいそうです。「この椅子使ってもいいですか?」と聞いて、「あ、それはちょっと…」と言われれば、日本人なら「あ、だめなんだ」と察しますが、外国人は「ちょっとどうなんだろう」と続きを待ちます。また、日本人は、ソフトに言うために全然違っているときでも「ちょっと違います」などといいます。また、話すときしか使わない言葉も難しいそうです。「準備しといてね」「間違えちゃった」「それはあかんわ」などですが、それぞれ「準備しておいてください」「間違えてしまった」「それはだめです」などと言う方が伝わるそうです。

■「やさしい日本語」は難しい？

矢谷先生にいろいろ日本語のことを教えていただいたあと、実践編でやさしい日本語に言い換える練習をしました。グループごとに「のし袋」をどう説明するかに取り組みました。分かりきったものを易しく説明しようとするとかなり難しく、各グループとも頭を悩ませました。日本語を習い始めて間もない人には、「これは袋です。お金を入れます。あげます。おめでとうございます。」で理解してもらえるとか。簡潔に言ってあげることが重要だそうです。その上で、はっきり、ゆっくり、区切って話します。「週に一回」を区切らずに言うと「週二回」と聞き取ってしまう外国人が多いそうです。「週に、一回」と文節で区切って話すとわかりやすい。

「相手のことを思って、思いやりを持って伝えてあげてください」と矢谷先生は講演を締めくくられました。

「楽しく話題を広げたい」

～対話中心の活動のすすめ～

テキストに頼らない対話中心の活動には、「本物のコミュニケーションができ、学習者にとって貴重な会話の場がつくれる」「型にはまった指導ではなく、参加者全員が対等な立場で情報交換でき、互いの気づきも増える」というメリットがあります。矢谷先生から、すぐにも実践できる対話中心の活動を教えていただきました。

■支援者の姿勢

対話中心の活動では、相手に関心を持ち、相手を理解しようとする姿勢が大切です。「言葉で言葉を伝えるほど難しいことはありません」と矢谷先生。絵やジェスチャーも使いながら、どうすれば伝わるかを模索しましょう。学習者の話を熱心に聴き、言葉がなかなか出ないときには、すぐ先回りせず「待つ」ことも大切。相手の話そうという気持ちを尊重して、じっくり待ってあげてください。

■入門期にぴったり　マスターテクストアプローチ

地域の日本語教室には、日本語が全く話せない学習者が来ることもあります。そういった「入門期」の学習者にも OK な対話中心の活動として、「マスターテクストアプローチ」があります。マスターテクストとは、モデル文のこと。モデル文をひたすら真似て繰り返すことで、自分の話に発展させる学習法です。例えば、「わたしは毎朝 7 時に朝ご飯を食べます。いつもパンを食べます・・・」といったモデル文があり、学習者はこれを何度も声に出して読みます。文法がわからない学習者でも、30 分ほど繰り返すと暗唱できるようになります。次のステップでは、支援者が学習者にモデル文にもとづく質問をします。学習者はモデル文が頭に入っているので、日本語で答えることができます。すると学習者は、もう自分のことが言いたくてうずうずしてくるんだとか。次のステップで、「あなたは毎朝、朝ご飯を食べますか?」「何を食べますか?」と質問されると、モデル文をアレンジして自分自身のことを日本語で話せる、というわけです。このマスターテクストアプローチを一ヶ月も続ければ、ほとんど日本語がわからなかった入門期の学習者でも、ある程度まとまった文が喋れるようになります。学習者本人はもちろん、支援者も嬉しい瞬間です。

■初級者向け　話題の広げ方

日本語に慣れてきた初級者の学習では、話題を広げて学習者の話を引き出すことが大切になってきます。『日本語おしゃべりのたね』という、色々な話題のネタが載っている本を活用するほか、学習者との会話の中で話題を広げていきたいものです。盛り上がりやすいのが、「食」の話。誰にとっても関心のある話題ですし、同じ地域に住む者同士だからこその情報交換ができます。また、レシートを活用する方法では、「よく行くスーパー」の話から始まり、「〇〇が安い」「最近△△にはまっていて……」など、話題がどんどん広がります。

矢谷先生から、地域の日本語支援活動をするうえで大切なことをたくさん教えていただきました。「これを機に、ぜひ日本語ボランティアを始めてみてください。楽しいです!」と、笑顔のエールでしめくくられました。

本当に言いたいことが日本語で言える活動を。
お互いのことを知り合いながら、日本語力を伸ばしていける活動を。

本格キムチを作りましょう

2月16日（土）　市民交流センター　食工房
講師　　金（キム）　鳳貴（ボンギ）さん

毎年好評のキムチ手作り講習会は、今年もキャンセル待ちが出るくらい大好評でした。参加者も定員いっぱいの 30 名で始まりました。

前日にスタッフが、白菜の買い出し、塩漬けと準備万端にしていましたので教室での作業もスムーズに運びます。参加者も小学生から高齢者までと幅広く、男性も 3 人来ていました。

「家が農家で白菜をたくさん作っているのでキムチ作りを学びたい」
「韓国から嫁いできたがキムチの手作りは初めてです」
「キムチが大好きなもので 1 度手作りしてみたかった」
等々皆さん楽しそうです。

最初にキムチの素に混ぜ込む野菜の千切りをします。細かったり太かったりと個性が出ますが、それを使って始まりました。
金先生は作り方を実演しながら丁寧に説明してくださいます。メモを取る人、写真を写す人、熱心に質問する人もあり熱気にあふれています。

先生がまとめて作るキムチの薬味には、魚エキス、唐辛子、にんにく、たまねぎ、青ネギ、大根、土生姜、餅粉で作った「のり」などが入っていてそれらを大きなタライに入れ力いっぱいかき混ぜます。

参加者は、白菜の塩漬けしたものを一人一つづつ受け取り、手にポリグローブをして一枚づつキムチの薬味を塗っていきます。
「おもしろい」「楽しい」「うれしい」「早く食べたい」など盛り上がりました。

お昼ご飯は、先生とスタッフが協力して作った「牛肉と白菜のスープ」と当日の浅漬けキムチです。白ご飯にキムチをたっぷりのせてパクパク食べたら体がポカポカになり笑顔が溢れました。

この日は、５名ものKIFA新入会者があり、ボランティア活動にも興味を持ってもらえたようです。

また来年が楽しみとの声がでていました。

●日本語サロン　スケジュール

月 ＼ 曜日		日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
4月	Apr	7・14・21・28	2・9・16・23	4・11・18・25
5月	May	12・19・26	7・14・21・28	9・16・23・30
6月	Jun	2・9・16・23	4・11・18・25	6・13・20・27

＜開講場所と時間＞
日曜日 Sundays　14:00～16:00
　　千代田公民館　2階
火曜日 Tuesdays　10:00～11:45
　　市民交流センター（KICCS）3階
木曜日 Thursdays　18:00～20:00
　　ノバティ南館3階　ノバティホール

●語学クラブ　スケジュール

コース		英語 フリー トーキング	英語 （中級）	英語 （初級）	中国語 （初級）	中国語 （入門）
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	14:00~15:30
開講日	4月	13	9・23	2・16	5・19	10・17
	5月	11	14・28	7・21	17・24	15・29
	6月	8	11・25	4・18	7・21	5・19

インフォメーション Information

■英語で絵本の読み聞かせ

市図書館との連携で「英語で絵本の読み聞かせ」がこの春からスタートします!

4月21日(日)14時スタートの「おはなしウォッチング」で英語版『はらぺこあおむし』を披露予定ですが、詳細未定につき、ご興味のある方は、図書館までお問い合わせください。

■ヤングアメリカンズ

今年は2日間のプログラムです。小中学生の皆さん、歌やダンスを通して新しいジブンを見つけましょう!

ところ：ラブリーホール
と　き：5月5日（日・祝）　11:00～19:30
6日（月・祝）　10:00～20:00
＊ショー　18:00～20:00

★開催の詳細や申し込み方法はホームページへ!
http://jibunmirai.com/ya/2019sm/

■2019年度総会

と　き：5月26日(日)　10:30～12:00　(開場10:00)
ところ：市民交流センター　3階　大会議室
定　員：100名(会員の方のみ)　申込不要

～ボランティア・フェスティバル～

2月24日（日）　市民交流センター他

第19回ボランティア・市民活動フェスティバルが開かれました。KIFA は、展示をして来場者の皆さんに日頃の活動を紹介しました。スタンプラリーをきっかけに、多くの皆さんと交流することができました。市内在住外国人の数を問うクイズも好評でした。

■国際料理教室　～フランス編～

フランスの家庭料理とお菓子の中から、Tomate Farcie（トマトの肉詰め）、Patate Farcie　(ジャガイモの肉詰め)、Bûche de Noël（丸太型のケーキ）をつくります。

講　師：ヨアン・カさん
と　き：6月15日(土)　14:00～16:00
ところ：市民交流センター　4階　食工房
参加費：会員 1,000円、一般 2,000円
定員：30名
持ち物：エプロン、三角巾、台ふきん
お問合せ：電話、メールでKIFA事務局まで

■特別講演会

溝畑氏は京都府出身。東大を卒業し、旧自治省（現総務省）などを経て 2010 年 1 月から 2012 年 3 月まで観光庁長官。2015 年4月から大阪観光局長を務めています。大阪・関西万博誘致でご活躍。河内長野をそして関西を元気にするどんな秘策があるでしょうか?

講　師：溝畑　宏氏　大阪観光局理事
と　き：6月22日（土）　13：30～15：30
ところ：市民交流センター　4階　イベントホール
定　員：先着 280 名
参加費：無料
申込み：メールか電話で　　受付開始 6 月 5 日（水）

事務局からのお知らせ

～就業時間の変更～

2019年4月1日から事務局就業時間が変わります。
火曜日～土曜日まで(祝日除く)　9:00～17:15

★大型連休期間中の4月28日～5月6日は、キックス3階の協会事務所はお休みです。

～会員継続手続きのお願い～

2019年度も引き続き協会へのご支援を賜りたく、会費のご納入をお願いいたします。尚、口座振替で会費納入をいただいている会員様は、7月10日に自動継続とさせていただきます。

コース		スペイン語（初級）	韓国語（中級）	韓国語（初級）	韓国語（入門）
時間		19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30
開講日	4月	5・19	10・24	10・24	10・24
	5月	17・24	8・22	8・22	8・22
	6月	7・21	12・26	12・26	12・26

■問い合わせ・申込み■
河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局
〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階
TEL: (0721)54-0002
FAX: (0721)54-0004
Eメール: office@kifa-web.jp

This is my story

上村 レオノラさん（フィリピン）

こんにちは、初めまして。

私は上村レオノラです。フィリピンから来ました。私の趣味は、本を読んだり買い物をすることです。

私は日本人と結婚して息子が1人います。

2006 年に私の主人はフィリピンで病気になり、日本で検査をすることになりました。結局、彼は肺がんと診断されました。1 年経って彼は亡くなりました。私はとっても悲しかったです。

この時期は日本に来たばかりで、どうすればいいか 1 人では全くわかりませんでした。日本語は喋れなかったし読めなかったし、何もできないと思いました。主人の弟以外は助けてくれる人はいませんでした。弟の助けを借りて私はその試練を乗り越えることができました。

主人が埋葬された後、私は深い悲しみにくれていました。主人に会えなくなって、一緒に生きることができなくなって、本当に寂しいです。

主人が亡くなった後、息子が日本に来ることができなくなったので、フィリピンにいる家族のために主人の遺灰をフィリピンに持って帰りました。

その時から今まで 1 人で 12 年間日本で生活してきました。近所の日本人の友達が優しいから、とても嬉しくて楽しい生活をしています。

最後に日本語サロンの優しくて教え上手な先生方へ、日本語サロンで日本語を教えて下さってありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

私は、今後も日本語の勉強と規則正しい生活を一生懸命続けたいと思います。

日本とフィリピンの皆さんのために、いつも神様にお祈りしています。

KIFA 新年懇親会

1 月 13 日（日）市民交流センター　4 階　イベントホール

ボランティアスタッフと外国出身の皆さんが、2019 年最初の集まりに参加しました。お国の手作り料理を持って来てくれる人あり、自分の一芸を披露してくれる人ありで、みんなで盛り上げるひとときになりました。

色々な国の料理が並びました。インドネシアのミーゴレン、日本の炊き込みご飯、お寿司、ペルーのアロス・コン・ポジョ、中国の茶蛋、カナダのシェパーズ・パイ、他にも日本のお菓子や果物、おからの料理、各種サラダ、アップルパイなど色々でした。

パフォーマンスでは、南天苑で働くフランス人、ヨアンさんのピアノの弾き語りと歌、スイスのヤングさんのお嬢さんのピアノの演奏があり、スイスのハンドパンという楽器を演奏してくださる方もいました。中国の劉麗さんも急遽アカペラで美しい歌声を披露してくれました。

国際色が凝縮されたような時間を共有し、今年一年のエネルギーを充填する機会になりました。

編集後記

30 年間続いた平成時代も、残りわずかとなりました。

KIFA も今年で 27 歳を迎えました。小さな赤ちゃんでしたが、ずいぶん大きくなって来ました。この 27 年間は本当に変化に富んだ時代でした。パソコンに出会いインターネットに初挑戦したのも随分前になります。

KIFA リポートも手書きで原稿を書いていたのが今や懐かしく思います。この 27 年間に携わってきたボランティアは数知れず、交流してきた国も 80 ヶ国以上になりました。

5 月 1 日からは新天皇になり、新元号にもなります。新しい時代には何が待っているのでしょう。KIFA もずっと先を見て、新しい出会いの場や楽しいイベントを提供していきたいと思います。外国語も資格も全然いりません。ぜひお友達を誘ってきてください。

Annie

無料
メールマガジン
配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報をいち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFAホームページから

http://www.kifa-web.jp/